

流れ藻観測速報

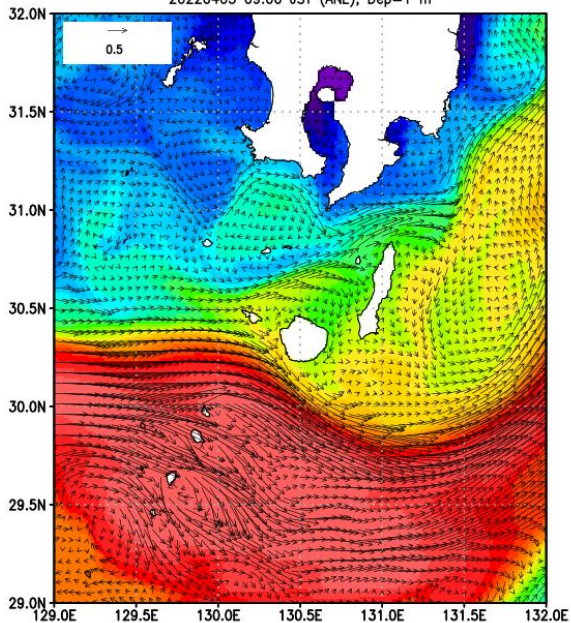
鹿児島大学水産学部水圏科学分野
20220408

観測期間: 2022年4月3日~6日

観測船: 南星丸

観測海域: 北部薩南海域

Bckgr: Potential Temperature at Model Level [C]+Sea Current at Model Level [m/s];
20220405 09:00 JST (ANL); Dep=1 m



解説

鹿児島大学水産学部では、薩南海域へ来遊する流れ藻の漂流予測を目指した研究を行っている。モジャコ業の漁期前・漁期中において、薩南海域に來遊する流れ藻の情報を漁業者に提供するため、鹿児島大学練習船を使って、北部薩南海域（大隅海峡・鹿児島湾口部）の流れ藻観測を4月3日~4月6日に実施した。

観測期間中、黒潮はトカラ海峡を西北西から東南東に向かって流れていた。九州西部海域から移流したと考えられる冷水域が黒島・硫黄島・竹島南部に認められた。この移流した冷水域は、3月に黒潮から派生したと考えられる大隅海峡の暖水域を隔離していた。鹿児島湾口部付近には、黒潮から隔離されたこの暖水域と九州沿岸の冷水域との間にフロントが見られた。

流れ藻は、4月3日~4日にはこの暖水域内に広く認められたが、4月5日~6日には暖水域の辺縁部にのみ認められた。

図1. 鹿児島大学工学部によって運用されている高分解能海洋モデル (DR_E) における流れ (矢印) および海面水温 (赤~青) の4月5日の結果 (ホームページより引用)。

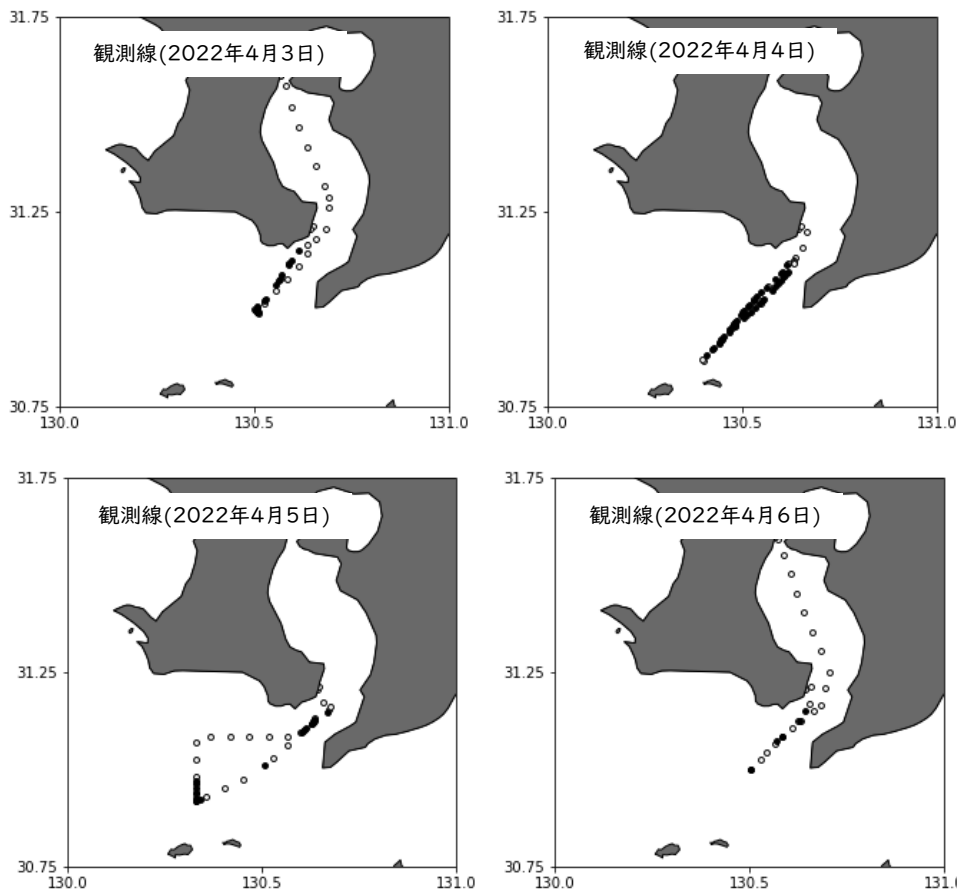


図2. 鹿児島大学練習船南星丸による流れ藻観測結果。白丸は流れ藻が発見されなかった地点、黒丸は流れ藻が発見された地点を示す。